

第1章 はじめに

◆ 計画の位置づけ

「天塩町公共施設等総合管理計画」は、人口減少・高齢化・財政課題など町の今後の社会・財政事情に応じた「公共施設全般の基本方針」を定めるものです。「天塩町第6期総合振興計画」を上位計画とするとともに、公共施設に関する個別施設計画の方向性を示す総合的な計画と位置づけられます。

◆ 計画の対象と期間

本計画の対象は、公共建築物とインフラ施設を含む町が保有する全ての公共施設です。計画期間は2017年度から2036年度までの20年間としています。

第2章 公共施設の現状と課題

◆ 公共建築物の現状

町の保有する公共建築物は、延べ床面積で約9万1千m²あります。

最も延べ床面積が多いのは「住宅施設」で、約2万8千m²と公共施設全体の約31%を占めています。

次に「学校教育施設」が多く、約1万2千m²(全体の約13%)となっています。

また、建築年別では、1970年代から2000年代前半までに整備されたものが多く、中でも1990年代後半に建てられたものが多くなっています。

分類	施設数	延べ床面積(m ²)	比率
住宅施設	89	28,678	31.4%
学校教育施設	5	12,111	13.2%
運動・観光施設	10	8,499	9.3%
社会教育施設	11	6,829	7.5%
その他施設	31	6,743	7.4%
保健福祉施設	7	6,260	6.8%
産業系施設	6	5,758	6.3%
医療施設	5	4,983	5.4%
行政施設	7	4,506	4.9%
インフラ建築物	6	3,715	4.1%
町民文化施設	3	2,328	2.5%
子育て支援施設	4	1,044	1.1%
合計	184	91,454	100.0%

(施設類型別の公共施設保有状況)

◆ インフラ施設の現状

町の保有するインフラ施設には、道路、橋梁、簡易水道、下水道があります。

分類	現状
道路	・町の管理する道路延長は約266km、道路部面積は約165万m ² です。
橋梁	・町の管理する橋梁は103橋で、橋長の合計は約2kmです。
簡易水道	・浄水場3ヶ所、水道管の総延長は約176kmです。
下水道	・処理場1ヶ所、下水道管の総延長は約23kmです。

◆ 公共施設の更新・改修費用の見通し

(公共施設全体)

今ある公共施設(公共建築物とインフラ施設)を全て定期的に更新・改修すると仮定した場合の今後40年間で必要となる更新・改修費用は、総額で約751億円、1年あたりでは約19億円と見積もられます。

公共建築物の費用が最も大きく(年平均で約8億円)、公共建築物に次いで道路や簡易水道の更新費用が大きくなっています。

また、更新時期が集中する時期においては、年25億円程度の費用見通しとなる年次も発生することが予想され、施設の長寿命化や工事の段階的な実施などによる事業費の平準化が必要です。

(公共施設のうち公共建築物)

公共建築物を全て定期的に更新・改修すると仮定した場合の今後40年間で必要となる更新・改修費用は、総額で約324億円、1年あたりでは約8億円と見積もられます。

このうち、「住宅施設」が約8億円(年平均で約2.3億円)と、最も多くなっています。

また、建築年の偏りがあることから、更新・改修の時期にも偏りが生じ、年間約14億円の費用支出が見込まれる年次もあります。

※公共建築物は、「建築後60年で建替え30年で大規模改修」という条件で算出

第3章 公共施設の基本方針

【方針①】施設保有量の最適化

今後の更なる人口減少や厳しい財政制約が予想されるなか、現在の保有量のままでは施設の更新費用を支出することが困難な状況が生じると予想されます。将来にわたり持続的に公共サービスを提供するためには、現在の公共施設の総量を削減し、公共施設の保有量を最適化していく必要があります。

既存老朽施設の建て替えや統廃合を除き、公共施設等の新規整備を原則実施しない方針とするとともに、既存施設の「用途転用」や一つの建物に複数の機能を盛り込む「複合化」によって、施設の量を増加させることなく、町民ニーズの変化への適切な対応を図ります。

【方針②】適切な維持管理の推進

公共施設の更新・改修・維持管理などの費用削減のためには、施設総量の削減だけではなく、適切な維持管理が必要です。「壊れてから修理するのではなく、壊れないように小まめに手入れをする」ことで、長期的な費用削減が期待できます。

施設の劣化状況を定期的に点検し、適切に補修・改修し、既存公共施設を長く・大事に使っていただくこと(長寿命化)で、予期せぬ損傷・故障などによるサービスの低下や突発的な費用支出を抑えることが期待できます。

【方針③】連携と協働による計画推進

公共施設の課題に対しては、町が一丸となって取り組む必要があることに加え、公共施設は地域住民の生活に密接に関わることから、地域住民と行政が情報を共有し、地域住民の理解のもと対策を実施していく必要があります。また、町の職員や財源などの行政資源には限りがあることから、住民や民間事業者等の力やノウハウを取り入れていくべきであります。

そこで、町のみが公共施設の対策に当たるのではなく、関係する地域住民や企業、周辺自治体などと協力・連携して対策を進めていきます。

第4章 公共施設の施設類型ごとの基本方針

分類	基本方針	主な施設
町民文化施設 (集会施設) (3施設)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社会福社会館、雄信内生活改善センターは、老朽化が進行し、大規模改修が必要な時期にあることから、建物の安全性のほか、利用者のニーズや施設の効率的運用など、広い観点から、改修、改善の方向性を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 社会福社会館 ▶ 中央町民会館 ▶ 雄信内生活改善センター
社会教育施設 (11施設)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 天塩川歴史資料館は町のシンボリック施設であり、景観上重要な建造物であることから、適切な維持管理により長寿命化を進め、有効活用を図ります。 ○ 各社会教育会館は、建物の劣化状況、維持管理費用等を踏まえ、施設の集約化・複合化等について検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 社会福社会館図書室 ▶ 天塩川歴史資料館 ▶ 社会教育会館 (川口、振老、北産土、更岸、円山、雄信内、男能富、泉源、幌萌)
運動・観光施設 (10施設)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運動施設は、施設の維持補修による長寿命化を当面の基本方針としながら、周辺自治体との連携についても検討を進めます。 ○ 観光施設は、費用対効果の面から施設のあり方を検証し、サービスの向上、維持管理コストの削減に努めるとともに、民間との連携・協力を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ファミリースポーツセンター ▶ 運動公園 ▶ 町民プール ▶ てしおこもればの森 ▶ スキー場 ▶ 情報交流センター(道の駅) ▶ 鏡沼海浜公園 ▶ てしお温泉 夕映
学校教育系施設 (5施設)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 天塩中学校は建設から20年が経過しており、定期的な保守点検による異常等の早期発見に努め、施設の長寿命化を図ります。 ○ 啓徳小学校は、地域にとっての主要な施設であることから、施設の将来的なあり方を踏まえた改修・改善の方策を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 天塩小学校 ▶ 天塩中学校 ▶ 啓徳小学校 ▶ スクールバス車庫 ▶ スクールバス待合所
子育て支援施設 (4施設)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子育て支援機能の充実と行政コスト圧縮の両立を目指し、既存建物の活用や他施設との複合化など、新規整備を伴わない施設のあり方について検討します。 ○ 認定こども園は、子育て支援センターとの複合施設であることから、それぞれの機能に見合った施設の改善について検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 天塩町認定こども園 ▶ 雄信内へきち保育所 ▶ こがら児童クラブ (スポーツセンター内) ▶ 子育て支援センター (認定こども園内)
保健・福祉施設 (7施設)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 高齢化の進展に伴う保健福祉施設の重要性が高まる一方、新たな施設整備に伴う費用負担が困難な状況にあること踏まえ、現行施設の維持活用によるサービスの確保を図ります。 ○ 日常点検や不具合報告に対応し、予防保全的な補修・改修を行うことで施設の長寿命化を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 老人福祉センター ▶ 雄信内老人憩いの家 ▶ 地域支え合いサロン ▶ 保健ふれあいセンター ▶ ケアハウス ▶ デイ・サービスセンター ▶ 特別養護老人ホーム
医療施設 (5施設)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安定的な医療サービスを提供するため、日常点検や不具合報告に対応した早期補修など、適切な維持管理に努め、突発的な補修費用の抑制及び建物の長寿命化を図ります。 ○ 医師住宅についても適切な維持管理により長寿命化を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 国民健康保険病院 ▶ 医師住宅 ▶ 職員住宅 ▶ 看護師宿舎(山手通) ▶ 看護師宿舎(新地通)

分類	基本方針	主な施設
行政系施設 (7施設)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本庁舎など行政施設は、災害時の防災拠点としても重要な施設であることから、日常点検や補修などの予防保全を進めるとともに、建物の耐震化による安全性の確保を図ります。 ○ 老朽化した車庫等については、維持補修経費などを考慮し、効率的な施設配置を再検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 役場庁舎(本庁舎) ▶ 役場雄信内支所 ▶ 社会福祉会館(教育委員会事務室) ▶ 建設課車庫 ▶ 新地通車庫 ▶ 山手裏通車庫
住宅施設	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公営住宅は、「公営住宅等長寿命化計画」に基づき、公営住宅の計画的な改善等を実施します。 ○ 教員住宅は、計画的な改修等に取り組むとともに、民間資源(賃貸住宅)の活用などによる財政負担の軽減を図ります。 ○ 職員住宅は、一定の必要数を確保しながら、老朽化した建物などから順次、利用停止や普通財産化等を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 公営住宅 ▶ 教員住宅 ▶ 職員住宅 ▶ ニューカントリーハウス ▶ 移住定住促進住宅
※ 個別施設計画：「天塩町公営住宅等長寿命化計画」(平成25年3月)		
その他施設	<ul style="list-style-type: none"> ○ 遊休施設は、基本的に売却を目指します。売却・譲渡など有効活用の可能性がない施設は、倒壊危険性などを考慮しながら計画的な除去を進めます。 ○ 将来的な利用動向やコスト・老朽度合いなどを総合的に勘案し、施設の最適配置と維持管理方策を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 旧教職員住宅 ▶ 世代間交流センター ▶ 旧農業開発事業所 ▶ 旧食肉センター ▶ バス待合所

第5章 インフラ施設の施設類型ごとの基本方針

分類	基本方針
道路	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画的な道路の改修・維持管理により、安全で安心な道路機能の確保と構造物のライフサイクルコストの縮減を図ります。 ○ 道路の定期的な点検確認を実施により、早期に道路施設の損傷を発見し、必要な対策を効果的に実施することで道路の長寿命化を図ります。
橋梁	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常的なパトロール・清掃の実施とともに、定期的な点検を行います。 ○ 「橋梁長寿命化修繕計画」において、長期的なコストを検討したうえで適切に修繕を進めます。
※ 個別施設計画：「天塩町橋梁長寿命化修繕計画」(平成25年2月)	
簡易水道	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水道施設の定期点検とメンテナンスを着実に実施し、施設の長寿命化を図るとともに、水道施設の現状把握と老朽施設の計画的な更新に努めます。 ○ 水道施設の構造や設置時期などの施設データをまとめた「水道台帳」の整備を、国(厚生労働省)の方針を踏まえながら取り組みます。
下水道	<ul style="list-style-type: none"> ○ 下水道の維持管理水準を確保しつつサービスを持続的に提供していくため、施設の定期点検とメンテナンスを着実に実施し、施設の長寿命化を図るとともに、施設の現状を把握し老朽施設の計画的な更新に努めます。
※ 個別施設計画：「天塩町特定環境保全公共下水道長寿命化計画」(平成27年2月)	